



特定非営利活動法人



http://nepal-mika.jp

令和3年春号 NO.65

ネパール・ミカの会

令和3年5月20日発行 194-0035 東京都町田市忠生 2-5-36 tel042-791-0602



「定宿があります。といっても行くのは年に2～3回」

理事長 齋藤 謹也

「相模原市 市民ファンド“ゆめの芽”助成金事業」

西澤 忠



そこにネパール・チトワンとゴルカ出身の女性が二人。中居さんをしています。調理長(男性)もネパール人(カトマンズ出身)三人でネパールの話しながら日本調の宿で話が盛り上がります。コロナで良く来られたね。二人は2年半前、一人は4年前。ギリギリで来られたそうです。

こんな風景は日本中のあちこちで、インド、ネパール料理店を中心に会話がなされていることと思います。

ネパール・ミカの会も高齢化とコロナが重なって活動が、ゆっくりとなりましたが、それでも出来ることがあれば少しでもしてあげたいという思いがありますね。

ミカの会の理事たちや会員の皆さんの動きを見ていると特にそれを感じます。

もうちょっと頑張れば、区切りがつくよねと言い合って日々を送っています。もうちょっと、もうちょっと・・・できれば、若い人が少しでも参加してくれればと願いつつ、団塊世代の力を見せてくれます。とにかく、健康でいましょう。

また、縁(エニシ)がめぐって必要とされる時代が来ると信じています。そして、わずかな事でも、人のつながりの喜びを考えていきましょう。

ユーチューブ (YouTube) でミカの会 25年の歩みを見よう!

2020年度当初の計画では、講演会やお茶会などにより在日ネパール人市民と相模原市民等との交流を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス (COVID-19) の影響により出来なくなりました。

そこで内容を変更し間接的ながら、ビデオによる交流を深める事とし、作業を進めました。出来上がったビデオは、ユニコムプラザのさぼせんブースで誰でも見られるようになっているほか ユーチューブで公開しています。ビデオの内容は下記の通りですので、是非ご覧ください。

なお、出演にご協力して頂いた方々及び団体関係者にお礼申し上げます。特にさぼせん“たすかるバンク”の相模原イメージユニオン荒金様には、撮影・録音・編集はもとより再三、再四に及ぶ修正にも快く対応して頂きました。この紙面でも感謝申し上げます。

注) さぼせん; さがみはら市民活動サポートセンター

◎ユーチューブでは「NepaMika」で検索してください。

ゆっくりとやさやかに 心をこめて 手から手へ

ネパールの子どもたちと手を携えて25年

ニッポン

ネパール

今こそつながろう!

सबै एकजुट होऔं।

NPO法人 ネパール・ミカの会
NPO Nepal Mika no Kai, Japan

YouTubeを見てね!

NepaMika (ねばみか) チャンネル

- 今こそつながろう! 結びあふれよう!
- 在日ネパール市民へのインタビュー
जाफनाबासी नेपालीको अवतरवारत
- 「ネパール・ミカの会」活動25年の足跡
नेपाल मििकाको सार्ह(समुह)को गतिविधिहरुका २५ औं वर्षका पाइलहरु।

連絡: NPO法人 ネパール・ミカの会 西澤(西澤)
E-mail: nepa@mika.or.jp
TEL: 042-8902-1941

1. 「NepaMika」チャンネル (17分)
2. インタビュー 「チャワン・ラマ」(9分)・「アチャリヤ夫妻」(24分)・「アエサ・グルン」(9分)
3. 民族の踊り (アエサ・グルン) ネパールの踊り(3分)・グルン族の踊り(4分)
4. NPO 法人ネパール・ミカの会 25年の足跡 「海外事業編」(17分)・「国内事業編」(9分)

「コロナ禍において学んだ事」

植草 光子

昨年からはじめたコロナ禍が今だ収束せず、自粛生活を強いられています。皆様におきましては如何お過ごしでしょうか？ミカの会の国内事業も殆ど中止で、皆様との交流も図れず、ネパールの校舎建設も2020年度は滞ってしまいました。色々な事が計画通りに進まなかった年でした。

日本人は辛抱強く、政府が強制しなくても感染拡大防止を自主的に出来る優れた国民性であると実感しました。しかし最近ではコロナ慣れのせいか緩んで来ているので、気を付けなくてはなりません。

私は、小さなクリニックの有床施設で看護師として勤務していましたが、何の準備もないまま、医師がコロナ患者様を受け入れてしまいました。今まで対岸の火事であったコロナの恐怖が襲って来ました。高齢の主人に感染したら、と思うと恐ろしくて眠れませんでした。

しかし翌日勤務すると、現実にはコロナ患者様をケアし、その他目の前にある事をこなさなければならないので、その場に立つと、人間は強くなるものだと思ながら感心しました。

看護師等3名に感染した為、残り3名の看護師で2週間休まずに勤務しましたが、その3名は感染せず、家族に感染するのが怖いと最初休んだ人と、実母のご逝去で5日間休んだ人が感染しました。休まず勤務した3人は守られたのは不思議です。この事から、逃げずに立ち向かい、お互いを助け合う事が大切と教えられました。強い絆で結ばれた3人でしたが、3人一緒に退職しました。

ミカの会の事業も何も出来なかったところに、西澤理事が、ゆめの芽事業をYouTubeで配信出来るようにして下さいました。「何も出来ない」ではなく、出来る事を見つけて実施して行く！素晴らしい事業展開でした。

個人的には、主人と散歩に出掛け、町田や近隣の素敵な所を見つけ、神様が与えて下さった自然を満喫しています。

忙しく働いていた時には目も止めなかった自然に感動している今日この頃です

「高尾山とセッコク」

加藤 雅子

ここ数年は登っていないが、以前は毎年のように高尾山に出掛けていた。ミカの会の総会が行われる5月、総会終了後の懇親会で、八王子の山下さんから「今年もセッコク見に行こうよ!!」と、声がかかる。セッコクは大木に着生して咲く、野生のランだ。

高尾山ではうすいピンクの可憐で小さな花が群生して咲いている。当日は4~5人のミカの会のメンバーらが、お互いのスケジュールを調整して「高尾山くち 山口」駅前に集合する。

ケーブルカーの駅に向かう人達を横目に6号路の登山道を山下さんを先頭に入っていくと、入り口には「半夏生」の花が咲いていて、山野草が大好きな濱崎さんが喜びの声をだしていた。私はここで初めて「半夏生」という花と名前を知った。沢沿いを水音を聞きながら登っていくと、高い木の枝に群生してセッコクが咲いている場所に着いた。

これは、やはり知っている人に教えてもらわなくては知らずに通り過ぎてしまいそうな、とても高い所で咲いている花だ。用意の良いメンバーから双眼鏡を借りてその花の様子を見ることができた。

でも、下から高い木を見上げて至る所に群生しているセッコクを一望できる景色が私は好きだ。そこから1時間ほどで頂上に着くことが出来る。ここでの思い出は、中野さんがリュックにペットボトルのお水と燃料を入れて、さらにみんなの分のうどんと刻んだネギまで入れて、昼食の時温かいうどんをごちそうしてくれたことだ。美味しかったし、なんか凄いと感じた。

昨年からのコロナで、自粛自粛の毎日だが、来年の春には高尾山のセッコクを見に行くことが出来るようになっている事を心から願っている。

「ミカの会入会と理事就任にあたり」

児玉 増夫

私が「ミカの会」への入会の切っ掛けを作ったのが西澤さんです。西澤さんは私がかつ社員時代の上司でした。と、言っても雲の上の存在でした。

2015年4月にとある太極拳教室へ入会してみると西澤さんと再会し、「ミカの会」のイベントでのお手伝いの依頼を受け、参加させて頂いたのが始まりです。当初は、メインに焼きそば・ソーセージ・飲み物・ネパールの民芸品等の販売をしていました。

お客さんへのお声掛け等は照れが有り中々できませんでした。慣れるに従い徐々に出来る様になりました。学校建設の資金作りとしてのバザー売り上げ金の捻出は大変だなと感じました。年間を通じて相模原・町田の色々なイベントに申し込みをし、当日の早朝からテント設営・火器設置等細々とした準備作業も苦労されている事が如何に大変な事かわかりました。

2017年秋頃西澤さんの勧めにより「ミカの会」への入会する事にしました。相模原、町田各市及び関連団体が運営するイベントへの参加は、とにかく楽しかった事だけが残っております。それは、会員皆様の暖かさや明るさがそうさせてくれたのかなと感じました。定例会や移動例会も楽しみの一つでした。

2019年「ミカの会」理事となり、私で大丈夫かな？と感じました。理事としての役割や業務そのものが理解できないとやっていけないのではないか？と思う。

昨年1月の下旬(24日)ネパールへ視察旅行として中野理事と共にさせて頂いた事は、私にとって貴重な経験となりました。如何に、「ミカの会」がネパールへの支援をしているかという事の一途が少しだけ理解できた様な気がします。

ネパールの現状は、未だ厳しいものがあると感じました。ルンビニで、学校見学の合間に農村部を見学しましたが少しだけショックを受けました。各家の作りが藁と土の練った壁で隙間だらけだった事。気温も低い時期で外で藁を燃やして暖を取っていた事が印象に残っております。

最近では、コロナの影響でイベントが軒並み中止となり活動も停滞気味になってしまいましたが、少しでもお役に立てます様頑張りますので宜しくお願い致します。



「相模原市「ゆめの芽」助成金事業」



Youtube でご覧になることが出来ます。

HP nepal-mika.jp からご覧になることもできます。

DVD 版を同封致しますのでご覧ください。



「セッコクは、東北地方南部以南の山地や岩場に見られる小型の着生ランです。デンドロビウムの仲間、主に針葉樹林や常緑広葉樹林に見られます。」

「コロナ禍つれづれ」

松浦 陽子

誰もが予想だにしなかった新型コロナウイルス感染の猛威。世界中に瞬く間に広がり、アメリカだけでも50万人以上の死者数だという。全世界ではいったいどれ位の数字になるのかと考ただけでも恐ろしい。未知のウイルスに振り回され、日々、政府もメディアも飛沫感染が怖いから、飲食店の時間制限や大人数での会食や外食は控えよう、ワクチン接種を急がねば、旅行も控えて、お花見も止まらず通り抜けてなどなど、毎日々々、テレビやラジオにウィルスに詳しい専門家が呼ばれて、ウィルス対策の意見を聞くことにかまびすしい。とにかく密を避け、マスクと消毒が外せない日常が当たり前になってしまった。

これまで経験したことのない不自由な生活。二本松にいる母に会いに行きたいが、姉には「近所の人の目があるから、今は絶対来ないで！」と強く言われて、渋々あきらめるしかないが、高齢の母がその間に亡くなってしまったらどうしようと焦燥感に駆られる。

そんな中で自分も古希を迎えて老化を認識させられるこの頃、身近な人達との別れが増えて来て、とても淋しい。ミカの会も足掛け25周年を迎えるが、長年一緒にバザー等でとても尽力して下さったYさんが、昨年大晦日に亡くなったことを年が明けてから知り、凄くショックだった。病気で療養中なのは知っていたが、必ず元気で又一緒に活動できるものと信じていたので、...

何よりも悲しくてやりきれないのは、お別れも出来ず、せめてご自宅に伺ってお線香の一本も手向けたいのに、コロナ禍のせいでそれも叶わないことだ。

思うにここ数年高齢化で、ミカの会の創立からの主力メンバーが病気で亡くなったり、倒れたり次々に去って行き、「嗚呼、25年というのはやはり長い歳月だったのだなあ！」と改めて感じさせられる。

兎にも角にもまずコロナが収束して欲しい。皆で又普通の日常に戻り、自由に行動したり話したりが出来ようになったら、ネパールのアマリやマヤデビ校が立派に完成した姿を見に行けるのを、楽しみにしている。



Photo Chieko Nakan

「1年間の花紀行」

中野 千恵子

昨年の2月の始めにネパールから帰国して、まず、びっくりしたのは新型コロナです。たった、10日間の旅行で変わりように驚きました。マスクが全然売っていないのです。何件もドラッグストアを見ましたがありません。あったとしても価格がもの凄く高く買える価格ではありませんでした。知り合いから分けて貰ったり、手作りマスクも頂きました。洗って使用してはいけない不織布マスクも洗って使いました。腰も痛いので極力家で過ごしたらだら生活です。

しかし、花の便りを聞くとうずうず、歩けなくても自転車、車は大丈夫なので、まず、相模原緑区役所付近の河津さくら見学です。

3月の末には上大島と津久井湖にさくらの咲き具合を見に行きました。少し早いので次の週に近所の方を車に乗せて相模原市役所近辺、上大島、津久井湖、城山湖とさくら見学。

皆、初めての事なので喜んでいました。又、今度はカタクリの花探しです。町田大戸に咲いているらしいのです。少し、歩けるようになったので、ゆっくりと探し、やっと見つけました。

又、1週間後には北公園でシャクナゲを探し、変わったさくらも咲いていました。コロナで駐車場も使えないので大変です。5月の連休では白い花びらのハンカチの木、ナンジャモンジャの花も綺麗に咲き誇っていました。5月中旬には薔薇の花が一斉に咲き始めていました。津久井湖ではルピナスの花が咲いていました。

6月中旬になると、夫が入院したので、庭の花で楽しみました。8月中旬に畑にマンジュシャゲの花にびっくりです。近所のお寺に蓮の花を写真を撮りにいきました。又、10月さくらも咲き始めて少し季節が可笑しいと感じました。12月中旬に忠生公園でロウバイの花が良い匂いをさせて咲いていました。今年に入ってから昨年と同じように尾根緑道、相模原市役所通り、上大島、津久井湖、城山湖、相原中央公園、等に行きました。又、法政大学近辺の八重さくらが見ごろでした。

こんなにたくさんの花々をゆっくりと見たのは初めてで感激の1年でした。いつまで続くか判らない新型コロナですが、元気に過ごせる事に感謝しています。



ルンビニ地区各学校のマスク配布の様子です。

「こもれび堂の物置整理雑感」

和田 泰子

あふれる花々とキラキラした新緑が目映る季節になりました。このように長くコロナ禍が続くとはい、昨年の早春には思ってもいませんでしたが、未だに終息の見通しは立っていません。

昨年度はミカの会のイベント、バザー出店等すべてが中止になってしまい、皆様からの善意のリサイクル品が、こもれび堂の物置に溢れるほどになっていました。今年も今の所イベント出店の可能性は低く、一度思い切った整理をということになり、3月に有志で、再利用出来る物、資源回収に出すもの等の仕分けをしました。

作業をしながら様々な思いが駆け巡りました。何年も続けてきたイベントでの焼きそばやリサイクル品等の販売は、会員が高齢になったこともあり負担を感じるようになっていましたが、そこでの会員同士の協力や交流がどんなにか大切なひと時であったか、仲間が集って何かできることは何て幸せなことだったのかを改めて思いました。

また出店の度に、手作りの美味しいおにぎりやお菓子、ハンドメイドのアクセサリー等を差し入れて下さった会員の山内さんに思いを馳せました。コロナ禍でお会いできないまま、彼女は病気で昨年末この世を去ってしまいました。寂しい思いと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

また出店の度に協力して下さい、今は連絡が取れなくなっている会員の方々を感謝と共に思い浮かべながら作業しました。

物置整理の際「古着 de ワクチン」というリユースの仕方がある事を知りました。専用回収キットを購入して古着等のリサイクル品を詰め発送すると、開発途上国でのポリオのワクチン寄付また衣類の選別作業、販売などの現地での仕事に繋がっていくという事業です。

取り敢えず今はこの方法でリサイクル品を役立てる事にしました。

早くコロナが終息し、心穏やかに楽しく集えることを願いながら、何とか元気で過ごしたいと思っております。



「マスクプレゼント・プロジェクト中間報告」

加藤 誠一

2020年12月ネパールの子供たちに感染防止のためのマスクを贈ろうと急遽プロジェクト始動。

ネットで寄付を募ることに。幸いPayPayで20%付与金拡大キャンペーン中なので利用してもらう事に。結果多くの寄附金をいただき早々にマスクの購入、配布を行いました。

下記のように既支援校全てに配布することが出来ました。ルンビニ地区は洗濯可能な布マスクを、カトマンズの学校にはサージカルマスクを届けました。ラマさんの手配でルンビニ地区はラムネンさん、カトマンズはラマさんが直接手渡ししました。コロナ感染拡大の中で迅速に行動して頂き感謝申し上げます。

現在、ネパールは感染拡大でロックダウン中です。継続して支援が必要になるかと思いますが、その際は改めてご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

「2021年度マスクプロジェクト配布校」

	生徒数	教員数	配布日
1. シリ・マヤディビ	230	5	2020.12.14
2. シリ・アマリ	350	8	2020.12.14
3. シリ・マズワニ	283	12	2020.12.14
4. シリ・シリ・ラム	647	15	2020.12.30
5. シリ・ルンビニ	200	7	2020.12.30
6. シリ・スندی	677	18	2020.12.30
7. シリ・アジアリ	427	12	2020.12.30
8. シリ・シダルダ	350	15	2021.01.21
9. シリ・サラソティ	150	6	2021.01.21
10. シリ・ティナウ	350	15	2021.01.21
11. シリ・ゲルワニマイ	550	19	2021.01.21
12. シリ・ビラルハワ	505	13	2021.01.25
13. シリ・ハジアナ	495	22	2021.01.25
合計	5214	167	

総合計 13校 5381枚 (洗濯可能な布マスク)
会計報告との差分は学校理事や配布担当者 19枚

14. パドマカニア 7枚/1人 820 260 2021.02.2
参考 50枚入り/120箱 6,000枚 (サージカルマスク)
※支援校延生徒数/6,034名

別途シリ・アマリ校全員に歯ブラシセットを配布いたしました。



「編集後記」

日本・ネパール両国共に新型コロナウイルスの感染が拡大しています。左のグラフは5月13日のものです。両国同時に感染拡大している様子が分かります。日本への入国も原則禁止であります。

残念ですが、国内でのバザーなど事業も中止、ネパールでの学校建設も中断したままです。

そんな中で「夢の芽」の事業、そしてネパールの子供たちにマスクのプレゼントをすることが出来ました。

会員同士の懇親もままならない状況に苛立ちを覚えますが、どうかしっかり対策をして乗り越えようではありませんか。

ワクチンの接種も始まります、もう一踏ん張りしましょう。

会員の皆様の健康を心よりお祈りいたします。 Stay Home!!!